



令和7年度
吉田南小学校
ランドデザイン

教育目標：かしこく やさしく たくましく

目指す子ども像：今の自分に自信をもち、夢に向かって努力する子

今年度の重点：「確かな学力」「人とのかかわる力」「目標に向かって努力する力」の育成

指導の重点

目指す子どもの姿

育ちを見取る基準

具体的な取組

①教育活動
②運営活動

知 基礎・基本の定着と意欲的に学ぶ態度の育成



- 1 基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける子ども
 - 2 学習規律を守り、落ち着いて学習に取り組む子ども
 - 3 家庭学習の習慣を身に付ける子ども
- 1 単元理解度のテストの平均が80点を超える児童が80%以上
 - 2 学びのきまりを守って学習に取り組む児童が80%以上
 - 3 10分×学年の学習時間を達成する児童が80%以上（1年生は20分）
- 1① 「分かった」「できた」経験を多く積ませ、学習に対する自己肯定感を高める授業を行う。
 - ② UDLに関する情報提供とチェックを行う。
「テストの解き方のコツ」について職員に周知する。
 - 2① 「学びのきまり」について、授業の中で常に児童に声を掛け、意識させる。
 - ② 「学びのきまり」の作成と周知をする。
 - 3① 学年共通のカードを利用して、児童の学習の様子を見取り、助言する。
 - ② 家庭学習週間週間を実施する。

徳 人とのかかわる力の育成



- 1 場に応じたあいさつができる子ども
 - 2 相手を思いやった行動や言葉遣いができる子ども
 - 3 友達と協力して活動できる子ども
- 1 場に応じたあいさつがしっかりできる児童が80%以上
 - 2 相手を思いやる言動ができる児童が80%以上
 - 3 友達と協力して活動できる児童が80%以上
- 1① あいさつ強固月間（4、9、1月）、学級であいさつについて考える時間をもつ。
 - ② あいさつ運動を実施する。
 - 2① 特別の教科道徳や学級活動で実際の問題場面を題材に対人関係や集団行動を考える指導を行う。
 - ② 「ふわふわ言葉を使おう週間」を実施する。
 - 3① 役割の明確化や学級遊び等、学級の中での居場所づくりに配慮した学級経営を行う。
 - ② 自己有用感が高まるような学級活動や学級経営に関する情報提供・交換を行う。

体 体力向上と基本的生活習慣の定着



- 1 楽しく運動する子ども
 - 2 目標に向かって運動する子ども
 - 3 規則正しい生活への意欲を高める子ども
- 1 体育の授業で、楽しく運動している児童が80%以上
 - 2 体育の授業に精一杯取り組み、目標に向かって努力している児童が80%以上
 - 3 基本的生活習慣が身に付いている児童が80%以上
- 1① スモールステップの場づくりやルール工夫を取り入れた授業を行う。
 - ② 体力づくりの環境を整える。
 - 2① 体育の学習において一人一人が具体的な自分のめあてを立てられるように助言する。
 - ② 学年ごとに達成すべき技能目標を作成する。
 - 3① 基本的生活習慣について学年に応じた指導を行い、振り返りをおして自己の生活を見つめさせる。
 - ② 健康アップ週間を実施する。

一人一人を大切にする特別支援教育の推進

- 一人一人のニーズに応じた指導内容や指導方法を工夫する。（UDL、合理的配慮、環境整備、職員研修）
- 個々の個性や能力を伸ばし、楽しく生活ができるようにする。（個別の指導計画、交流・共同学習、障害の理解）

特色ある教育活動の継承と推進

授業力を高める

- ・一人一人の専門性、授業力の向上を目指す研修
- ・燕長善タイムの活用
- ・読解力の育成

南小文化（南小らしさ）を継承する

- ・一人1台端末を利用した学習の充実とICT教育の推進
- ・きれいな校舎（黙働清掃）
- ・児童発の活動（全校ダンス等）

集団を育てる

- ・Q-U調査、学級力診断を利用した集団把握
- ・縦割り班活動の充実
- ・お互いを認め合う集団づくり

チーム南小

- ・働き方改革
- ・チームとしての体制確立と個々の役割の明確化
- ・職員一人一人の力の発揮

社会に開かれた教育課程の実現

保護者と連携した活動

- ・PTA活動の推進
- ・子ども育成会との連携
- ・家庭学習の習慣化、よいあいさつ、基本的生活習慣の育成

地域と連携した活動

- ・吉田南地区協議会と連携したコミュニティスクールの全面実施
- ・学校応援団事業の推進
- ・地域資源の活用と教材化

こども園・小・中等の連携等

- ・吉田中学校区、学区こども園等との連携
- ・特別支援学校の専門的支援